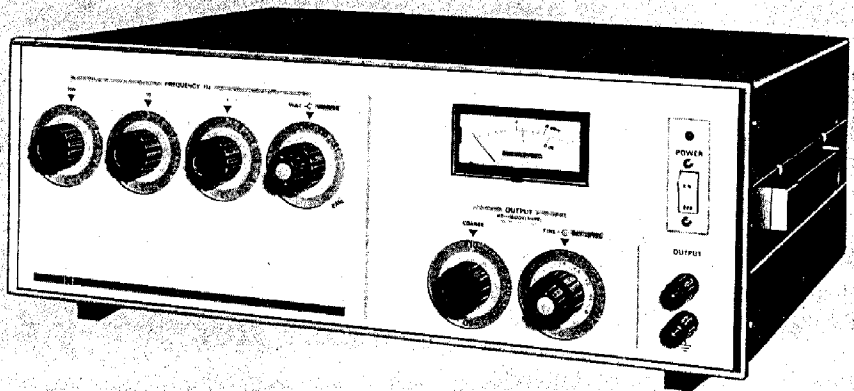


# National

超低ひずみ率RC発振器

## VP-7220B

- 新しい振幅制御方式(特許出願中)により  
0.001%以下の超低ひずみ率  
(1 kHz、実測値)
- 1Hz~99.9kHzディケード方式
- 0.02dBのフラットネス
- 90°の位相差をもつQUAD出力付
- 出力計および減衰器を内蔵



### ○ 特長

#### 1.) 0.001%以下の超低ひずみ率(1 kHz、実測値)

ひずみ率を劣化させない新方式の振幅制御回路(特許出願中)を採用し今まで到達できなかった0.002%(規格値)の超低ひずみ率を実現しました。(50Hz~50kHz)しかも周波数切換時のトランジェントもミリ秒の単位で安定し、いつも一定の出力を提供します。

#### 2.) 0.02dBのフラットネス

新方式の振幅制御回路は、周波数に対する振幅特性も検知限界である、0.02dBのフラットネスを実現しました。

(30Hz~20kHz)

低ひずみ率計と合わせて高性能アンプ、フィルタなどの新たな分析や測定に欠かせない信号源です。

#### 3.) 1 Hz~99.9kHz ディケード方式

周波数範囲は3つのディケードダイヤルと1つのレンジスイッチにより、1Hz~99.9kHzまでディケード方式で可変できます。周波数バーニアつまみにより、各ステップ間を連続可変することができます。

#### 4.) 90°位相差をもつQUAD出力

主出力(前面パネル)に対して周波数に無関係に、90°位相の進んだ出力(QUAD出力:背面パネル)が供給できます。出力は約30dB以上連続可変できる出力調整器を内蔵しています。

この出力を利用して、2相出力の信号源として特殊な位相関係の測定に利用できます。

#### 5.) 出力計と減衰器を内蔵

出力をモニターするために、1dBの目盛をもった出力計が内蔵されています。バーニアつまみによって、減衰器のステップ間をカバーします。

減衰器は0~79dBまで1dBステップで可変できます。

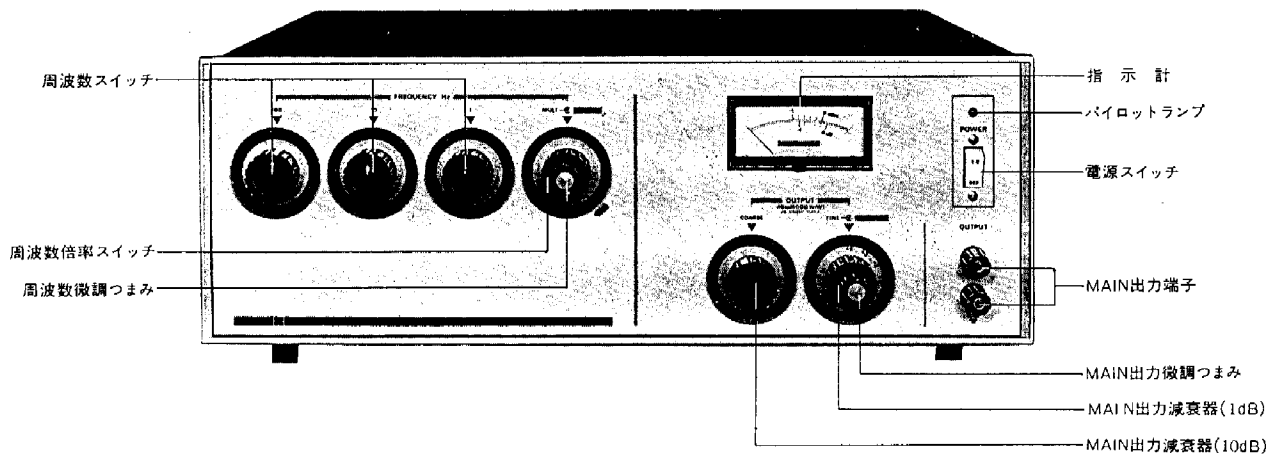
#### 6.) 超低ひずみ率計

この発振器と組み合わせて超低ひずみ率測定が容易にできる超低ひずみ率計VP-7702Bの併用をおすすめします。



ナショナル  
電子計測器

Electronic  
Measuring  
Instruments



仕様

発振周波数：1 Hz～99.9kHz

- × 1 1Hz～999Hz
- × 10 1kHz～9.99kHz
- × 100 10kHz～99.9kHz

VERNIERつまみにより、各ステップ間をカバー。

周波数誤差：±(2%+0.1Hz) 1 Hz～99.9kHz

出力電圧：10Vrms (開放) } MAIN出力 ±3%(1kHzにおいて)  
 5Vrms (600Ω 負荷) } QUAD出力 ±10%(1kHzにおいて)

出力周波数特性：MAIN出力 ±0.02dB以内 30Hz～20kHz  
 ±0.05dB以内 20kHz～50kHz  
 ±0.1dB以内 10Hz～99.9kHz  
 QUAD出力 ±0.2dB以内 30Hz～20kHz  
 ±0.5dB以内 10Hz～99.9kHz

ひずみ率：0.002%以下 50Hz～50kHz } MAIN出力  
 0.004%以下 5Hz～99.9kHz }  
 (FREQ VERNIERはCALの位置とする)

出力インピーダンス：600Ω 不平衡 MAIN・QUADとも  
 出力減衰器：MAIN出力

- 10dB ステップ×7 (+10～-60dBm)
- 1dB ステップ×9 (+6～-3dBm)
- 1dB ステップ間連続可変
- QUAD出力 30dB以上連続可変

MAIN-QUAD位相差：90°

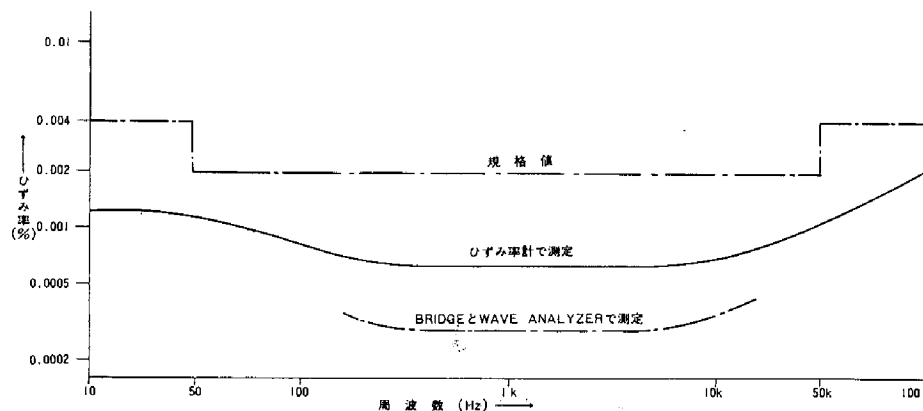
電源：AC100V±10% 50～60Hz

消費電力：15VA以下

大きさ：430W×150H×350D mm

重さ：約6.5kg

VP-7220Bひずみ率特性カーブ



アクセサリ

取扱説明書 1部

VQ-020BB……測定リード……… 1

VQ-020BR……アースリード……… 1

●本カタログ記載の仕様、デザイン、寸法、価格等は予告なく変更させていただくことがあります。

●お問い合わせは……

松下通信工業株式会社  
 電子計測事業部 TEL(045)531-1231  
 〒223 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

